

今週は「救いの恵み、神のギフト」をキーワードにイエスのお言葉に思いを巡らせましょう。できれば、それぞれのみことばの前後のストーリーも読んでみましょう。

●12月12日（月）マルコ2：4、5

その人々はイエスのおられるあたりの屋根をはがし、穴をあけて、中風の人を寝かせたままその床をつり降ろした。イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に、「子よ。あなたの罪は赦されました」と言われた。

<赦し>

私たちに起こる数々の病、傷、悩み、憂い。ときに私たちは自分を責め、原因を探り、あの時こうすればよかったのにと後悔を繰り返します。自責の深さゆえに心を閉ざしたり、何をしていても常に重しを乗せられているような日々を長い間過ごすこともあります。友人たちのしたことは、イエスのもとに連れて行くことでした。イエスだけが罪を赦す権威を持っておられます。そのお方があなたの罪も赦してくださいます。

私の過去、どんなに償おうと思っても償えない罪があります。どんなに悔やんでも悔やみきれない重荷があります。しかし、あなたは「罪赦された」と言ってくださいます。ただただ感謝します。

●13日（火）ヨハネ9：3

イエスは答えられた。「この人が罪を犯したのでもなく、両親でもありません。神のわざがこの人に現れるためです。」

ざがこの人に現れるためです。

<慰め>

私のせいじゃないのに！私が何をしたらいいんですか！こんな目に遭うなんて！私たちはそう叫びたくなるできごとに襲われます。生まれつきの盲人に、人々はさまざまな憶測を立てては勝手なことを言います。あるいは言わなくても心のなかで思っていたでしょう。しかし、イエスは「神のわざが現れるため」と言います。この時が来るまでどれだけの年月を過ごしたのでしょうか。どれだけの涙を流したのでしょうか。しかし、このたったひとことが彼の慰めとなりました。

どんなつらい過去も、たった一つの言葉ですべてが洗い流される慰めがここにあります。主よ。どうか、私の目を開いてくださって、あなたのわざを見させて下さい。そして私にも慰めを与えてください。



●14日（水）ヨハネ4：14

わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渇くことはありません。わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出します。」

ちへの水がわき出します。」

<回復>

サマリヤの女、彼女には人には見られたくない過去がありました。それがゆえに、人目をはばかり、隠れ暮らす寂しい毎日を送っていました。その彼女に「生ける水」、決して渇くことがなく、永遠のいのちへの水が湧き出る泉を与えてくださいました。彼女は町に出て行き、今まで自ら遠ざけてきた人たちに証しします。彼女の渇きは満たされて、潤う泉が回復を与えたのです。

主よ。私たちは疲れ切って渇きます。いつもいのちの泉である主のもとに「生ける水」をお与えくださり、私を潤し、すべてのことに回復を与えてください。

●15日（木）ルカ19：5、6

イエスは、ちょうどそこに来られて、上を見上げて彼に言われた。「ザアカイ。急いで降りて来なさい。きょうは、あなたの家に泊まることにしてあるから。」ザアカイは、急いで降りて来て、そして大喜びでイエスを迎えた。

<喜び>

何が彼をそうさせたのでしょうか。取税人のかしらで金持ち。しかし、人に疎まれ、罪人と呼ばわりされ、守銭奴となった彼。せめてイエスに会えば何かが変わる！そう思ったのでしょうか。イチジク桑の木にまで登るのです。「成功」とは裏腹に決して満たされる

ことのない思いを抱えた日々。その彼のすべてを知り、友となってくださった。それはどんなに大きな喜びだったことでしょうか。

本当の喜びに満たされたいと願いながら、他のものですり替え、かりそめの喜びでごまかそうとすることが私たちにもあります。イエスの友となる資格など何一つない私を友と呼んで「急いで降りてきなさい」と今日もあなたは呼んでくださっておられる。

私の心がいつも友なるイエスと共にあり、その喜びで満たされますように。



● 16日（金）ヨハネ15：12、13

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。人がその友のためにいのちを捨てるといふ、これよりも大きな愛はだれも持っていない。

<愛>

最後の晩餐のその席、イエスは弟子たちの足を洗い、教えられました。そして、そのことばの通りに十字架でいのちを与え、私たちを愛してくださいました。愛とは自分を捨てること。その足跡に従うように私たちを招い

ておられます。

主よ。私は本当の愛を知りませんでした。しかし、イエス様の十字架の恵みで愛を知りました。どうか、その足跡に従わせてください。自分を捨てる。それができない罪人でした。しかし、今、愛することを通して払う犠牲を通して、イエス様が払ってくださった犠牲、その愛の深さ、広さ、高さ、長さをさらに知るものとさせてください。

● 17日（土）ルカ2：11

きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。

<希望>

長い間待ち望んでいた救い主の現れ。羊飼いが、東方の博士が、エリサベツやザカリヤ、シメオンとアンナが、それを知らされました。まだ、その救いのすべてを知っていたわけではありません。しかし、彼らは信仰によって、その救いの恵みをその小さな赤子に見いだしました。戸惑うマリヤとヨセフも信仰をもって受け止め、神のくださる希望を仰ぎ見たのです。

主よ。私はまだ、地上にあっては救いのすべてを見たわけではありません。しかし、このイエスが十字架と復活によって罪と死に打ち勝たれた勝利の主であることを知っています。やがて来たるべき再臨、救いの完成という希望をしっかりと握りしめて、今を生きます。思いを日々新たにさせてください。

みことばと共に行くアドベント

2016

第3週

